

対象者： 中学2年生～高校1年生（男子）



ラグビーの聖地で、
自分の基準を世界レベルへ

2026年度
ニュージーランド・
ラグビー・アカデミー
8月21日(金)～8月30日(日)
10日間



添乗員同行◎

ニュージーランドの名門セイクリッド・ハート・カレッジによる
短期集中ラグビープログラム



ラグビープログラム：
実戦で通用するスキルを磨きます



英語とマオリについて学ぶ専用クラス：
英語クラスでは英語だけではなくマオリの文化も学べます



充実のアクティビティ：
オールブラックス・エクスペリエンス、
イーデンパーク(ラグビー場)訪問ツアー等



ホームステイ：
海外の生活を肌で感じることができます

開催地

ニュージーランド
オークランド



旅行企画・実施 株式会社ATI

研修内容の紹介



ラグビープログラム



研修先の現地校セイクリッド・ハート・カレッジ (略称SHC)は、多くのオールブラックスの選手を輩出してきた文武両道の名門男子校です。

同校ラグビー・ダイレクターであるシャーウィン・ストワーズのもとで編成された熟練のコーチ陣が、安全面に最大限配慮し指導にあたります。トレーニング中は、日本語通訳がサポートいたします。

多くのオールブラックスの選手を輩出してきた文武両道の名門校で、ニュージーランドラグビーの本質である「楽しさ×本気」を体感。実戦で通用するスキルを磨きます。本プログラムでは、以下の4つの軸をもとにラグビーIQを高めます。

RUN (ラン)

状況判断力と加速力を高め、スペースを突破する力を養います。

PASS (パス)

正確性とスピードを両立し、“次につながるパス”を強化します。

KICK (キック)

戦況を読む力を養い、状況に応じたキックの使い分けを習得します。

CONTACT (コンタクト)

安全性に配慮しながら、力強いコンタクト技術とボディコントロールを身につけます。



ストワーズ氏

専用クラス



当アカデミーに参加される方の専用の英語とマオリのクラスをご用意
マオリ・クラスでは、先住民族マオリの文化を学びます。

アクティビティ



オールブラックス・エクスペリエンス、オークランド博物館訪問、
イーデンパーク(ラグビー場)訪問ツアー、マウント・イーデン訪問など充実
したアクティビティを用意しています。

ホームステイ



ニュージーランドの家庭で家族の一員として過ごす時間は、英語力は
もちろん、自主性やコミュニケーション能力を飛躍的に高めます。

SACRED HEART COLLEGE



250 West Tamaki Road
Glendowie, Auckland 1071
New Zealand

ALL BLACKS EXPERIENCE



SkyCity Entertainment Precinct
Auckland CBD,
New Zealand

予定日程表

日時	日付(曜)	都市名	発着	交通機関	時刻	旅程 (食事)〈宿泊〉
1	2026年 8月21日 (金)	東京(成田)	発	NZ-090	17:00 20:00	成田空港にご集合 ニュージーランド航空090便にてオークランドへ 【所要:10時間25分/時差:+3時間】 (機)〈機中泊〉
2	8月22日 (土)	オークランド	着	専用バス	9:25 午前 午後	オークランド空港到着、入国審査、通関 現地校 Sacred Heart College(SHC)へ ※昼食は各自※ オリエンテーション後、ホストファミリーとマッチング、ホームステイ先へ (機×タ)〈ホームステイ〉
3	8月23日 (日)				終日	ホストファミリーと過ごします (朝昼タ)〈ホームステイ〉
4	8月24日 (月)			公共交通	午前 午後	1限目: ご挨拶とプログラムの説明 2限目: 英語クラス 3限目: マオリ・クラス 4・5限目: ラグビー・トレーニング (朝昼タ)〈ホームステイ〉
5	8月25日 (火)			専用バス	午前 午後	オールブラックス・エクスペリエンス (All Blacks Experience) (オールブラックスの歴史や展示と、ハカ体験などが楽しめる施設です) テ・ヘンガ・ビーチ (Te Henga Beach)で散歩 (マオリ語で砂を意味し、ペセルズ・ビーチとも呼ばれる広大な黒い砂浜です) (朝昼タ)〈ホームステイ〉
6	8月26日 (水)			専用バス	午前 午後	1・2限目: オークランド博物館訪問 (貴重な展示や体験を通じて、ニュージーランドの歴史やマオリ文化、自然史を総合的に学べる代表的な博物館です) 昼食 4・5限目: ラグビー・トレーニング (朝昼タ)〈ホームステイ〉
7	8月27日 (木)			専用バス	午前 午後	1・2限目: イーデン・パークスタジアムツアー (通常非公開であるロッカールームや入場トンネルを見学することで、スポーツ文化への理解を深められる貴重な機会です) 昼食 4・5限目: ラグビー・トレーニング (朝昼タ)〈ホームステイ〉
8	8月28日 (金)			車 専用バス 公共交通	午前 午後 夕刻	ホストファミリーと現地校へ、ホストとお別れ 1限目: 英語クラス 2限目: マオリ・クラス 3・4限目: ラグビー・トレーニング 5限目: さよならパーティー ホテルへ ラグビーの試合観戦 (Auckland vs Bay of Plenty) ※夕食は各自※ (朝昼×)〈ホテル〉
9	8月29日 (土)			公共交通 徒歩	午前 午後	マウント・イーデン訪問 (オークランド市内を一望できる小山です 360度の絶景が楽しめます) ショッピング ※昼食は各自※ レストランにて夕食 (朝×タ)〈ホテル〉
10	8月30日 (日)	オークランド 東京(成田)	発 着	専用バス NZ-099	早朝 10:15 18:15	オークランド空港へ ※朝食は各自※ ニュージーランド航空099便にて帰国の途へ 【所要:11時間00分/時差:-3時間】 着後、入国審査・通関、解散 (×機一)

利用予定ホテル:Auckland City Hotel または同等クラス

※交通機関並びに時刻は変更になることがあります。

※視察先や研修先が受入先の状況により他の施設へ変更となることがあり、また日程が入れ替わることがあります。

※各視察場所には現地日本語コーディネーターガイドが同行いたします。

※食事表記について:朝…朝食、昼…昼食、タ…夕食、機…機内食、×…食事なし、一…手配無し

募集要項

<2026年5月設定>

1. 実施期間：2026年8月21日（金）～8月30日（日）10日間

2. 募集人員：15名（最少催行人数12名）

3. 参加費用：670,000円

*12名様未満の場合、催行中止になる場合がございます。

旅行代金に含まれるもの

- ・航空運賃（ニュージーランド航空エコノミークラス）
- ・宿泊費（ホテルは2名で1室、ホームステイは1～3名で1家庭滞在）
- ・食事（朝7回、昼6回、夕7回）
- ・現地校費用（ラグビートレーニング、現地授業参加費）
- ・日程に明示した見学視察時の入場料・ガイド代
- ・日程に明示した専用車代
- ・団体行動中のチップ・税金・サービス料・諸雑費等
- ・受託手荷物運搬料金（1人23kg以内）
- ・団体行動中のチップ及びサービス
- ・添乗員、日本語コーディネーターまたは通訳同行費用
- ・ラグビー観戦チケット代、現地校ポロシャツ2枚

旅行代金に含まれないもの

- ・日本国内の自宅から集合場所まで及び解散場所から自宅までの交通費
 - ・超過手荷物運賃（規定の重量、容量、個数を越えた場合）
 - ・海外旅行保険料（保険加入が参加条件です）
 - ・クリーニング、電話代、飲み物代など個人的性質の諸費用
 - ・ニュージーランド電子渡航認証（NZETA）取得料（※NZ\$117、オンラインで各自申請となります）
 - ・パスポート新規取得費用（5年間有効旅券）11,000円
 - ・成田空港施設使用料・国際観光旅客税 ※4,160円
 - ・海外空港税 ※約11,400円
 - ・ホームステイと学校間の往復バス代
- ※ニュージーランド航空は燃油特別付加運賃の設定はありません。
※2026年5月現在の金額です。今後の為替レートによって変動します。

4. 申込方法：右記QRコードに必要事項をご入力の上、お申込み下さい。

5. 締切日：2026年5月14日（木）

6. 申込金：催行決定の連絡後、申込金40,000円を下記へお振り込みください。

*申込書と申込金の両方を確認した時点で旅行成立となります。申込金は参加費用の一部となります。生徒名でお振込み下さい。振り込み手数料はご負担いただきます。

三井住友銀行 ひなぎく支店 当座 2854016
口座名 「カ）エイティーアイ」

参加申込フォーム



ホームステイ申込条件書は
↓こちらから閲覧可能です↓

ホームステイ申込条件書

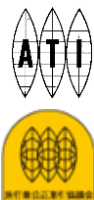


7. 取消料：旅行取消については、以下の取消料を申し受けます。

7月12日（日）から7月21日（火）の取消	旅行代金の10%
7月22日（水）から8月18日（火）の取消	旅行代金の20%
8月19日（水）から8月21日（金）の取消	旅行代金の50%
旅行開始後の取消または無連絡不参加	旅行代金 全額

8. その他：旅行実施については担当旅行会社株式会社ATIの旅行条件書並びに旅行業約款（募集型企画旅行）にもとづいて行われます。

参加者の状況によっては、当初の手配内容に含まれていない特別な配慮・措置、また、医師の診断書のご提出が必要になる可能性があります。特別な配慮・措置が必要となる可能性のある方（例：心身に障害のある方、生死に関わる持病や治療中の疾病をお持ちの方など）はご相談させていただきますので、必ずお申し出ください。



〈担当旅行会社〉株式会社ATI

〈観光庁長官登録旅行業第141号・一般社団法人日本旅行業協会会員・ボンド保証会員〉

〒101-0032東京都千代田区岩本町2-4-1 神田岩本町プラザビル8階

TEL: 03-5829-6396 FAX: 03-5829-6397 URL: <https://www.ati-jp.com/>

総合旅行業務取扱管理者：五十嵐 雅之 担当者：岩崎



■ 海外危険情報、現地の治安・病気について

渡航先(国、または地域)によっては、外務省により危険情報などの安全関連の海外渡航関連情報が出されている場合があります。お申込みの際にご確認下さい。海外渡航関連情報は、外務省海外安全相談センターなどでもご確認頂けます。
外務省 TEL:03-3580-3311 [海外安全ホームページ] <http://www.anzen.mofa.go.jp/> [厚生労働省検疫所] <http://www.forth.go.jp/>

ご旅行条件(要約)

■ **募集型企画旅行契約**:この旅行は株式会社(以下「当社」といいます。)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」といいます。)を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする最終旅行日程表と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によりします。

■ **条件**:18歳未満の方のご参加は、父母または親権者の同意書が必要です。参加にあたって特別の条件を定めた旅行については、条件に合致しない場合、ご参加をお断りする場合がございます。

■ **旅行のお申込み及び契約成立時期**:当社にて当社所定の申込書に所定の事項を記入し、申込金3万円を添えてお申込みください。申込金は、旅行代金お支払いの際差し引かせていただきます。電話、郵便、ファクシミリその他の通信手段でお申込みの場合、当社が予約の承諾の旨を通知した翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金の支払いをしていただきます。旅行契約は当社が契約の締結を承諾し、申込金を受領した時に成立いたします。

■ **旅行代金のお支払い**:旅行代金は旅行開始日の前日から起算して40日目にあたる日より前にお支払いください。

■ **取消料**:旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除される場合は、下記の金額を取消料として申し受けます。

契約解除の日	繁忙期(4/27-5/6、7/20-8/31、12/20-1/7)に開始する旅行
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目にあたる日以降~31日目にあたる日まで	旅行代金の10%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目にあたる日以降~3日目にあたる日まで	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日~当日	旅行代金の50%
旅行開始後(※)又は無連絡不参加	旅行代金の100%

※旅行開始後は乗客のみが入場できる飛行機場内手荷物検査等の完了時

■ **旅行代金に含まれるもの**: (いずれも旅行日程に明示されたものに限る/これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払い戻しいたしません。)●航空、船舶、鉄道など運送機関の運賃・料金(特に記載がない限りエコノミークラスを基準とします)●団体行動中のチップ●送迎バスなどの料金●観光の料金(バス料金・ガイド料金・入場料)●宿泊(ホームステイ及び、ホテル)費用及び税・サービス料金(2人部屋に2名様ずつの宿泊を基準とします)●日程に明示されている食事の料金及び税・サービス料金●航空機による手荷物の運搬料金(航空会社の手荷物有料化に伴い一部含まれない場合があります)●現地での手荷物の運搬料金(一部含まれないコースがあります。また、一部の空港・ホテルではお客様ご自身で運搬していただく場合があります)●添乗員の同行費用

■ **旅行代金に含まれないもの**:前項の他は旅行代金に含まれません。その一部を例示いたします。●各航空会社により設定される手荷物運搬料金及び有料の機内食や飲み物代金等●超過手荷物料金●クリーニング代、電話代、ホテルのボーイ・メイド等に対する心づけ、その他の追加飲食など個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金●渡航手続き関係諸費用●日本国内の空港施設使用料等●日本国内における自宅から各コース発着空港集合・解散地点までの交通費・宿泊費●旅行日程中の空港税等(但し、空港税などを含んでいることを明示したコースを除きます)●燃油サーチャージ

■ **特別補償**:当社は当社又は当社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規定に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故によりその身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、予め当社約款特別補償規定に定める金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。

■ **旅行条件・旅行代金の基準**:この旅行条件は2026年5月1日を基準としています。又、この旅行代金は2026年5月1日現在の有効なものとして公示されている運賃・規則、又は、2026年5月1日現在認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています

■ **その他**:●当社所定の申込書にお客様のローマ字氏名をご記入される際には、ご旅行に使用されるパスポートに記載されている通りにご記入ください。お客様の氏名が誤って記入された場合は、航空券の発行替え、関係する機関への氏名訂正などが必要になります。この場合、当社はお客様の交代の場合、お客様の交代手数料をいただきます。尚、運送・宿泊機関の事情により、氏名の訂正が認められず、旅行契約を解除いただく場合もあります。この場合には当社所定の取消料をいただきます。●航空運送約款又は航空会社の定めにより日程上実際に利用できない複数の予約(重複予約)をお持ちの場合、航空会社で予約が取り消されても責任を負いません。

ご案内とご注意

■ 渡航手続きについて

- 旅券(パスポート)をお持ちでない方や期限切れの方は旅券の新規取得が必要となります。
- 訪問する国により、乗継時等における旅券の必要残存期間が異なります。お持ちの旅券が

今回の旅券に有効かどうかのご確認、旅券・査証(ビザ)の取得はお客様ご自身でお願いいたします。尚、旅券発給申請、査証の申請書類作成などについては、別途、渡航手続き代行契約を締結していただいた上でお取扱いしております(要代行料金)

● **旅券(パスポート)について**:各ツアーのページ下部に日本国籍の方の必要残存期間について、ご案内しております。その期間を満たしている旅券が必要です。これは2026年5月1日現在の情報となり予告なく変更になる場合がありますので、最新情報をご確認ください。また、航空便の乗継ルートによっては、ほかの国の必要旅券残存期間を要求される場合があります。必要残存期間以上の余裕のある旅券をご用意いただくことをおすすめします。国籍により必要残存期間や条件などが異なりますので、ご注意ください。

● **ビザ(査証)について**:日本国籍の方は当パンフレットでご案内の旅行先では90日以内の観光の場合、査証は不要です。2026年5月1日現在の情報となり予告なく変更になる場合がありますので、最新情報をご確認ください。外国籍の方で、ビザ(査証)が必要な場合、最終的にビザ取得が出来なかった場合でも、規定の取消料がかかりますのでご注意ください。

■ 親権者の渡航同意書

渡航国により、未成年者のみの渡航の際、親権者2名の渡航同意署名が必要となる場合がございます。弊社ではトラブルを防ぐため、親権者2名のご署名を頂けない場合は、渡航国により戸籍謄本の英文訳(※費用が別途がかかります)をご準備頂くようお願いをしております。

■ 最少催行人員未達による催行中止のご案内について

お申込みコースの旅行が催行されない場合は、出発の45日前までにご連絡いたします。

■ 航空機・バス・観光・お食事について

● 航空機の移動について

各日程表内に記載の航空機発着時間および便名は2026年5月1日を基準としています。あらかじめ便名が指定されている場合も航空会社のスケジュール変更等に伴い、便名が変更される場合があります。また、発着時刻は目安です。確定発着時間及び便名は旅行出発前にお渡しする最終旅行日程表にてご確認ください。

● 運送機関の遅延・不通・スケジュール変更・経路変更など、また、これらによって生じる旅行日程の変更・目的地滞在時間の短縮及び観光箇所の変更、削除などが生じる場合もあります。このような場合責任は負いかねますが、当初日程に従った旅行サービスが受けられるよう手配努力いたします。

● パンフレット記載の航空会社は全ての路線が全席禁煙となります。

● 機内食は食事回数に含まれません。

● 国内航空便及び前泊ホテルをご希望の方はお問い合わせください。

■ スケジュールについて

宿泊ホテル、および利用航空便などのスケジュール内容についてはご出発の2週間前~7日前(遅くとも前日まで)にお渡しする最終旅行日程表にてご確認ください。

■ 燃油特別付加運賃(燃油サーチャージ)

各航空会社では昨今の世界的な航空燃油価格の高騰を受け、「燃油特別付加運賃・料金(以下、燃油サーチャージ)」を設定し、国土交通省に申請・許可されました。それに伴い、旅行代金とは別途お客様にお支払頂くことになりました。当コースの目安は各発着地により異なりますので、各コースのページをご確認ください。尚、今後、燃油サーチャージは変動する場合がございます。残金請求時に旅行代金とともにご請求させていただきますので、予めご了承ください。

■ 空港税等について

● 渡航先の国々(または地域)によっては、その国の法律などにより渡航者個人に対して空港税などの支払いが義務付けられています。

● 旅行代金には、空港税は含まれておりません。空港税などのうち、航空券発券時に徴収することを義務付けられているもの、また日本の各空港施設使用料は旅行代金と合わせて日本円でお支払いください。税額などの詳細は2026年5月1日現在の税額を各コース毎に明記してあります。

● 複数の国や都市を訪問する旅程では、空港税等はその都度必要となります。また、同じ旅程であっても使用する航空機便の経由する空港や国や都市のめぐり方によって合計金額が異なる場合があります。

● 空港税等の新設又は税額が変更された場合、徴収額が変更になる場合があります。

■ 海外旅行保険加入のご案内

● 海外での万一の事故や病気の場合、多額の費用がかかる場合があります。お客様ご自身で十分な海外旅行保険(疾病、傷害、賠償など)に加入されることをおすすめします。

■ **個人情報の取り扱いについて** 当社はお申込書にご記入頂いたお客様の個人情報について、お客様とのご連絡、ご旅行におけるサービスの手配のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

■ その他

● 時間帯の目安:航空機、バス等の移動の発着時刻をもとにした目安です。

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
4時	6時	8時	12時	16時	18時	23時 4時

参加者、保護者の皆様へ

ホームステイプログラム申込条件

○1～13の条件をご確認・ご了解の後、各項目の□に✓を入れてください。

1. ホームステイ中の守るべきルール

プログラム中は、滞在国の法令、公的機関の規則、参加者条件を遵守するとともに、現地ホームステイコーディネーターや添乗員の指示に従い行動をしてください。滞在国によっては飲酒や喫煙の年齢、薬物の使用などについて、日本と法令が異なる場合がありますが、プログラム中はそれら全てにおいて禁止です。違反した場合はプログラム途中であってもご帰国いただきます。その際には、保護者の方に現地までお迎えに来ていただく場合があります。(途中帰国に伴う費用が生じた場合は、全てご自身にてご負担いただきます。) また、集団行動を乱し、他の参加者に危害を加える、ホストファミリーの注意に従わないなど、著しく迷惑がかかると現地コーディネーターや添乗員が判断した場合も、途中でご帰国いただく場合がございます。 □

2. 日本との生活習慣の違い

異国の家庭での生活様式は日本とは異なる点が多いです。食習慣やシャワーが当たり前の生活など、文化や生活習慣の違いを不便ととらえず、受け入れる姿勢が必要です。食生活に慣れるよう、ホストファミリーと積極的に会話をし、できる限り一緒に過ごして現地の生活習慣に慣れるよう努力して下さい。お困りの場合は、同行している添乗員か現地コーディネーターに何でもその場でご相談ください。 □

3. 問題解決は現地にて

プログラム中における疑問点(プログラム内容、ホームステイ先での生活など)については、ホストファミリー、添乗員、コーディネーターに、直接お早目にご相談ください。現地にて対応致します。(ご帰国後では対応致しかねます。)先にご参加者から日本のご自宅に直接連絡を取られた場合、現地にて添乗員やコーディネーターが状況を把握できず、適切な対応が現地できれないこともございます。こういったトラブルを避けるため、直接のご連絡はお控えください。また、保護者様からの現地情報によるご相談、ご要望等もまず現地の確認後の対応となります。 □

4. ホームステイ基本条件(人数)

ホームステイは原則1家庭に2名での滞在です。但し、受け入れ家庭の状況によっては、1家庭1名または3名での滞在となる場合がございます。ホストファミリーの情報はご出発の約5～3日前(遅くとも前日まで)にご連絡します。ホストファミリーのプライバシー保護の為、事前にお伝えできる情報が限られる場合があります。また、ホストに事前にメール等を送付しても、相手の受信環境によっては届かなかったり返信がない場合があります。 □

5. ホームステイの基本条件(異文化理解)

ホストファミリーは、現地受け入れ先のホームステイコーディネーターが、家庭条件の確認を行い、選定しています。ホームステイは、家族の一員として現地家庭に滞在することを通じて異文化体験・国際交流を目的としています。従いまして、家族構成、相手の生活様式、習慣、宗教、法律、約束事をご理解ください。差別、偏見はマナー違反です。 □

6. ホームステイの基本条件(多様性)

ホストファミリーの人種、住宅事情(ホストファミリーの子供と同室など)、職業、宗教、家族構成(シングル家庭、同性カップル、子どもの有無、子どもの年齢、異性の子どもの有無)、留学生(日本または他国から)と一緒に滞在、国際結婚の日本人ホストなど家庭事情は様々ですが、ホストファミリーが厚意を持って皆さんを受け入れる気持ちに変わりはありません。従って、事前にこれらの条件に希望を出すことはできませんし、決定後のホストファミリーの取消しは原則できません。 □

7. ホームステイペアのご希望がある場合

ホームステイでペアのご希望がある方は、できるだけペアの方と同時期にお申込みください。受付は個人でのお申し込み順となりますので、ご注意ください。ペアは確約ではありません。アレルギーや現地受け入れ等状況に応じて組み合わせますので、必ずしもご希望に添えない場合もございます。

8. ホストファミリーの変更について

ホストファミリーの決定後やホームステイ開始後でも、家庭内の不慮の出来事や家族の病気、または天災などの理由で、ホストファミリーが変更になる場合があります。その際は、できるだけ速やかにお知らせいたします。ホームステイ先の変更を希望する場合は、まず生徒本人とホストファミリー双方の状況をコーディネーターが確認し、必要に応じて様子を見るか、変更対応を行います。変更には数日かかることもあり、すぐに対応できるとは限りませんので予めご了承ください。また、ホストファミリー側に非がない場合は、変更に伴う費用が発生することもあります。

9. 健康状況の確認

当プログラムにご参加されるにあたり、健康状況調査書に持病やアレルギー症状等をご記入いただきます。ホームステイコーディネーターは可能な限りそれらの情報を考慮しますが、各ホストの事情により、やむを得ずペットアレルギーの症状がある方が、ペットがいる家庭に入る可能性がございます。アレルギーをお持ちの方は、必ず万が一の場合の対処薬（服用薬・エピペン等）のご準備をお願いいたします。また、集団行動を伴う研修ですので、健康上の理由によりご渡航をお断りする場合がございます。英文の診断書のご提出が必要になる場合がございますが、英文診断書ご提出後に、現地コーディネーターの判断によりご渡航をお断りする場合がございます。

10. 貴重品の管理

プログラム中、貴重品（パスポートや現金、カメラ、携帯電話など）は、自己の責任において管理してください。ホームステイ先ではご自身のスーツケースに入れ鍵をかける、ホテル滞在時はスーツケースまたはセーフティーボックスに預けるなどしてご保管下さい。万が一、プログラム中に破損や紛失等があった場合、弊社は責任を負いかねます。また、パスポートを紛失した場合は再取得のための追加費用が発生したり、団体と一緒にご帰国いただけない可能性があります。

11. 研修中の安全管理

プログラム中はご自身の自覚と責任において行動してください。安全管理や健康管理については、添乗員より適宜注意を促しますが、不慮の事故、テロ、暴動、犯罪などで損害を被られた場合でも、弊社は一切の責任を負いかねます。

12. 気持ちの伝え方

文化や言語が違う人々に気持ちを伝えるのは困難な場合もあるかもしれませんが、ホームステイ先では用意された食事や車で送り迎えの時など、小さなことにも、必ず“Thank you”と感謝の気持ちを伝えましょう。また断る時やお願いするときは、必ず“I'm sorry”や“Please”、“Excuse me”を言うようにしましょう。

13. ホストファミリーの個人情報

ホストファミリー情報は、プログラム参加者及びその保護者、プログラム関係者のみに共有されます。ホストファミリーの許可なしに、親戚や友人も含む第三者に情報を渡すことは、個人情報保護法によりかたく禁じられています。また添乗員の現地携帯電話番号はご参加者のみに現地にてお伝えいたします。

参加者署名

日付

保護者署名

日付

ホームステイ事例集

★ 食事が合わない・量が多い、少ない



好き嫌いや食事の量はきちんと伝えれば、ほとんどはすぐに解決できます。最初は慣れない味や食材もあるかもしれないけど、これも留学の一環なので楽しんでトライする気持ちが大事!

★ 食事は自分で準備?

Breakfast



朝食はシリアルやパンなど、ホームステイ先にあるものを自分で用意して食べたり、ランチも、夕食の残りを詰めるなど、そこにある食材を使って自分で用意することもあります。

★ 外食費は自分で払う?



ホストファミリーに誘われ一緒に外食した場合は、払ってくれることが一般的。ただし、自分から食べたいものをリクエストした場合などは自己負担となることも。毎回支払いを求められた場合は添乗員・現地スタッフに相談しましょう。

★ 週末の過ごし方は様々



ホストファミリーと過ごすこともあれば、各自自由に過ごす場合もあります。ホストファミリーの週末の予定を早めに確認し、各自自由の場合は、行きたい場所を添乗員などに相談してみましょう。

★ 他の留学生が滞在している



ホストファミリーは同時期に複数名留学生を受け入れていることも多いので、留学生の有無については国籍問わず(日本から、他国からも)行ってみないとわからない場合もあります。

★ 家が遠い



学校が都心にありホームステイ先が郊外だと、バスや電車を乗り継いでも1時間以上かかる場合があります。日本よりも車社会の国が多い海外では、駅から家までの距離も遠く、遅延もあるので予め余裕を持った行動が◎。

★ ホストマザー・ファザーが怖い



文化の違いが原因のこともありますが、声大きい・表情が厳しいなどは、その方にとっては普通の振る舞いの場合もあるため、まずはコミュニケーションをとる努力をしてみましょう。それでもホストファミリーとの関係に不安があるときは相談するのが安心です。

★ 家が汚い



相手の家庭の衛生感覚や生活習慣は日本とは異なるため、価値観・文化の違いと割り切ることも大事。土足であがる、ペットが出入りする、食器洗いは洗剤に浸すだけ、手洗いはトイレの後のみなど、家庭によってはよくあることですが、健康に影響がある場合はすぐに相談を。

★ ホストに放置された!?



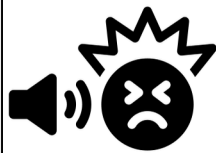
一時的に自宅で留守番をしたり、ショッピングモールで一定時間生徒だけで過ごすことはよくあります。また、ホストファミリーが毎晩夕食を一緒に食べられない場合もあります。ただし、毎日生徒だけで食事をしている場合や、長時間・深夜に生徒だけで過ごす状況が続いている場合は、すぐに相談を。

何かトラブルがあったら溜め込まずに現地のスタッフ、添乗員にすぐに相談をしましょう! 現地での解決が鉄則。こんなはずじゃなかった! よりも、これも経験のひとつ! という精神で柔軟な心構えを持つことも大事です! ✨

ホストファミリーが

困ることあるある

★ 深夜まで起きている



海外では夜9～10時には寝る家庭も多いです。日本人は夜更かしに慣れているためすぐに眠れないこともあるでしょう。その場合でも、ホストファミリーが寝た後は部屋に入り電気を消して静かに過ごすなどの配慮が必要です。

★ リアクションがない・薄い



ホームステイ先でのトラブルは、コミュニケーション不足が原因になることが多いです。何も言わないと誤解や心配を招くこともあるので、ホストファミリーに安心してもらえるよう、積極的に歩み寄る姿勢が大切です。

★ 部屋に引きこもっている



部屋にこもっていると、語学力も伸びず、異文化交流もできず、何よりホストファミリーも心配します。着替えや就寝の時以外は、できるだけリビングで過ごしましょう。

★ 帰宅時間の連絡がない



多くの家庭で、「夕食までには帰る」など門限が設定されています。時間を守ることは、ホストファミリーへの敬意を表す大切なマナーです。遅れる場合は、すぐに連絡することが重要です。

ホストファミリーは、言葉も文化も生活習慣も異なる“まったくの他人”を自宅に迎え入れるという、大きな責任とリスクを背負っています。どんなに受け入れ経験が豊富でも、毎回どんな留学生が来るかは分かりません。だからこそ、ホストファミリーに「この子なら安心だ」と思ってもらえるよう、自分から積極的に挨拶をしたり会話をしたりして、信頼関係を築いていくことが大切です。小さな気遣いや笑顔が、安心感につながります。

保護者の皆様へ

ご理解とご協力をお願い

★ ホームステイ先変更について

ホームステイ先の変更を希望する場合は、まず生徒本人とホストファミリー双方の状況をコーディネーターが確認し、必要に応じて様子を見るか、変更対応を行うかの判断をします。変更には数日かかることもあり、すぐに対応できるとは限りませんので予めご了承ください。また、ホストファミリー側に非がない場合は、変更に伴う費用が発生することもあります。

★ 子供と連絡が取れない！？

「GPSの反応がない」「連絡が取れない」「LINEが既読にならない」といったお問い合わせをいただくことがあります。現地での生活に慣れてくると、連絡が減ることもありますが、それは順調に過ごしている証でもあります。どうか温かく見守っていただけますと幸いです。

お子様がホームステイ中に不安や不満、疑問などを感じた場合は、まず現地の大人に相談するよう促してあげてください。ホストファミリー、添乗員、現地コーディネーターなど、頼れる大人に話すことで、問題が早期に解決することもあります。もちろん、すべてがすぐに解決するわけではありませんが、自分で考え、行動し、乗り越えていく経験こそが、留学の大きな学びであり醍醐味です。親として心配になる場面もあるかもしれませんが、お子様の成長の機会と信じて、そっと背中を押してあげてください。